

COMPANY RESEARCH AND ANALYSIS REPORT

|| バリュエーションレポート ||

パンチ工業

6165 東証スタンダード市場

[企業情報はこちら >>>](#)

[企業調査レポートはこちら>>>](#)

2026 年 8 月 21 日 (金)

執筆 : フィスコアナリスト

渡邊俊輔

FISCO Ltd. Analyst Shunsuke WATANABE



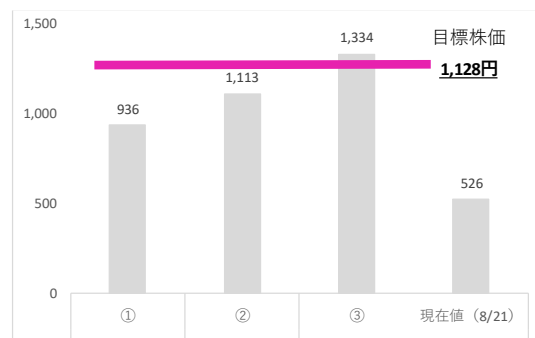
FISCO Ltd.

<https://www.fisco.co.jp>

レーティング : Buy 目標株価 1,128 円で 114.4%の上値余地

【精密金型部品の製造・販売の世界シェアトップ】2029 年 3 月期までの営業利益 CAGR（2027 年 3 月期予想と比較）を +30.7%と予想、今後 1 年程度の目標株価を 1,128 円とした。

	2027年3月期	2028年3月期	2029年3月期
PER (倍)	12.11	9.88	7.09
PBR (倍)	0.61	0.59	0.57
ROE	5.1%	6.0%	8.0%
売上高成長率	6.9%	4.4%	6.4%
営業利益率	5.3%	6.3%	8.2%
営業利益 (億円)			
会社予想	24.0	26.0	34.0
フィスコ予想	-	29.4	41.0
コンセンサス	-	-	-
純資産 (億円)	237.2	244.5	254.7



※特に断りがなければ数値はフィスコ予想。

※ 株価：①類似企業の今期予想平均PER、②2029年3月期のPER15倍、③2029年3月期までの成長率によるPEG1倍。

業績概況/中期経営計画の進捗状況

金型部品事業では、自動車の EV 化や高精度化に伴い技術要求が高まっており、同社にとって追い風の状況が続く。また、FA 市場でも、人手不足や人件費の上昇、製造現場のスマート化を背景に世界的な需要が拡大しており、事業環境は良好。

概要

直近決算

2026 年 3 月期の売上高は前期比 3.1%増の 42,100 百万円、営業利益は同 20.5%増の 2,031 百万円となった。自動車関連は、国内で低迷したものの、中国で受注が好調に推移したことをはじめ、海外が全体の増収をけん引。利益面では、中国での稼働率向上に伴う原価率の改善に加え、日本・中国両拠点での間接費の抑制が寄与した。一方、親会社株主に帰属する当期純利益は、M&A に伴うのれんの減損損失により減益となった。

中計

3 カ年中期経営計画「バリュークリエーション 28」では、「収益性の改善」「次の成長に向けた基盤構築」を掲げ、最終年度となる 2029 年 3 月期に売上高 500 億円、営業利益 34 億円、ROE8.0%の達成を目標とする。金型部品事業では、利益率の高い特注品へのシフトやミスミグループとの提携シナジー、間接業務の DX 推進を通じた収益性向上を進める。加えて、FA 事業を第 2 の柱へ育成するため、総額 30 億円の M&A 投資を優先的に実行し、非連続な事業拡大を目指す。

当社アナリストのコメント

国内市場の低迷を海外事業の好調で補完し、増益を確保したことは、本業の収益力の改善を示していると言える。特に売上高の約 6 割を占める中国では、現地メーカーなどの需要を取り込み、稼働率向上による原価率改善を実現したことが収益拡大に寄与した。今後は、ミスミグループとの提携による生産・物流の最適化、また、国内営業体制の強化がさらなる収益性向上につながるかが注目される。

収益構造改革と成長領域への投資方針が明確に示されている一方、会社の利益計画は保守的な水準とみている。足元では、特注品比率の向上や FA 事業の拡大、ミスミグループとの提携効果などで成果が現れ始めており、今後も収益力の一段の向上が期待される。これらの施策が着実に進展すれば、中期経営計画の達成に加え、市場からの評価改善が進み、PBR1.0 倍水準への見直しも十分視野に入ると考える。

パンチ工業 | 2026 年 8 月 X 日 (X)
6165 東証スタンダード市場 | <https://www.punch.co.jp/ir/>

投資のポイント

強み/競争力の源泉	特に中国でのネットワークに加え、高度な精密金属加工技術、国内外約 2,000 台の生産設備や、特注品を含めて幅広く対応可能な点は、同社の競争優位性となっている。
株価のアップサイド要因 /変化の兆し	特注品比率の向上やミスミグループとの提携効果の拡大に加え、FA 事業における M&A が順調に進展すれば、中期経営計画を上回る利益水準の達成も視野に入る。また、2035 年 3 月期の営業利益 80 億円が視野に入れば、株価は 3,000 円を上回ることになる。
株主還元	配当性向 30%以上または DOE3%以上のいずれか高い水準を基準とする安定配当を基本方針に掲げる。2027 年 3 月期の年間配当予想は、好調な業績を反映して 20.10 円へ上方修正された（配当利回り 3.84%）。自己株式取得は機動的に実施を検討する方針。

Buy : 目標株価の設定時において、目標株価が現在値より10%以上である。
Neutral : 目標株価の設定時において、目標株価が現在値より-10%から+10%の範囲内。
Sell : 目標株価の設定時において、目標株価が現在値より-10%以下である。
Suspended : 目標株価を停止。
※投資判断および目標株価は概ね1年後の想定。

ディスクレーマー(免責事項)

株式会社フィスコ(以下「フィスコ」という)は株価情報および指数情報の利用について東京証券取引所・大阪取引所・日本経済新聞社の承諾のもと提供しています。本レポートは、あくまで情報提供を目的としたものであり、投資その他の行為および行動を勧誘するものではありません。

本レポートはフィスコが信頼できると判断した情報をもとにフィスコが作成・表示したのですが、フィスコは本レポートの内容および当該情報の正確性、完全性、的確性、信頼性等について、いかなる保証をするものではありません。

本レポートは、対象となる企業の依頼に基づき、企業への電話取材等を通じて当該企業より情報提供を受け、企業から報酬を受け取って作成されています。本レポートに含まれる仮説や結論その他全ての内容はフィスコの分析によるものです。

本レポートに掲載されている発行体の有価証券、通貨、商品、有価証券その他の金融商品は、企業の活動内容、経済政策や世界情勢などの影響により、その価値を増大または減少することもあり、価値を失う場合があります。本レポートは将来のいかなる結果をお約束するものでもありません。お客様が本レポートおよび本レポートに記載の情報をいかなる目的で使用する場合においても、お客様の判断と責任において使用するものであり、使用の結果として、お客様になんらかの損害が発生した場合でも、フィスコは、理由のいかんを問わず、いかなる責任も負いません。

また、本レポートに掲載されている発行体と当社（IR コンサル部）は現在または将来において、（アナリストレポートの作成や動画配信、IR コンサルティングサービスなどの）有償の取引を行っている/行う場合がございます。

本レポートに記載された内容は、本レポート作成時点におけるものであり、予告なく変更される場合があります。フィスコは本レポートを更新する義務を負いません。本文およびデータ等の著作権を含む知的所有権はフィスコに帰属し、フィスコに無断で本レポートおよびその複製物を修正・加工、複製、送信、配布等することは強く禁じられています。

フィスコおよび関連会社ならびにそれらの取締役、役員、従業員は、本レポートに掲載されている金融商品または発行体の証券について、売買等の取引、保有を行っているまたは行う場合があります。

以上の点をご了承の上、ご利用ください。

■お問い合わせ■

〒107-0062 東京都港区南青山 5-13-3

株式会社フィスコ

電話：03-5774-2443（IR コンサルティング事業本部）

メールアドレス：support@fisco.co.jp